



☆2021 低ブロック(2年) 課題☆
自分たちで、計画・進行できるようにする。

提案理由:ともだちとなかよくしたいから。
決まっていること:教室でやる。やることは3つ。

柱1:なにをやるか

柱2:もりあげるくふう

柱3:やくわりぶんたん

柱1では、「マグネットが5個ついたら決まり」と学級で共通理解がなされていました。全員が同じゴールに向かって、進んで意見を発表し、集中して友達意見を聞くことができました。



学級会のなかで、何度も「いい意見がたくさんあったよ」という言葉かけがありました。子どもたちの意見を記録して、自分から挙手したり、発表したりするのが苦手な子どもたちには、優しい言葉かけや、司会側からの指名があり、自信をもって発表できている子どもたちが多く見られました。

《授業研究会より》

篠原先生から、「今回の学級会は、時間内に振り返りまでスムーズに進行することに重きを置いた」というお話がありました。話し合いをスムーズに進めるために、学級会ノートをチェックしてコメントを書いたり、司会グループが大きな声で進行し、その場に応じた発言ができるように準備を重ねたり、マグネットがいくつになったら花丸をつけるか事前に共通理解をしたりするなど、事前の準備を綿密に行ったということでした。こうした篠原先生の事前の準備や、学級会でのさりげなく的確な言葉かけで、司会グループや、発表した子どもたちの達成感につながる学級会になりました。

☆低学年ブロック(2年) 今後の課題☆

- ・理由を添えて、学級や、友達みんなのことを考えた発言ができるようにする。
- ・柱2を「やくそく」から「盛り上げる工夫」へ考えや活動を広げていく。
- ・全員に司会を経験させ、自分たちで主体的に学級会の準備や進行ができるようにしていく。